

第一部 起業の経緯と背景

1. マルチメディア革命の一翼を担うべく

(1). マルチメディア革命とは ~ Prosperity Peace Progressive

電子のフロンティア(新大陸)の誕生

- ・ 情報通信技術の飛躍的進歩で誕生する、時空間を超えた新たな世界
- ・ 運河、鉄道、高速道路を経て、情報ハイウェイが第三次産業革命を担うインフラに

3 P (Prosperity Peace Progressive) の実現

- ・ 環境負荷の低い経済社会システム : Prosperity
人口問題(高齢化、少子化・急増化)、環境・資源問題を回避し得る、新たな生産・消費システムの構築により、調和の取れた経済成長が実現
- ・ 多元・多様なコミュニケーション(情報受発信)ネットワーク : Peace
地球規模での連帯意識の形成が容易となり、民族・国家問題の解決が促進する
- ・ 価値の源泉は個人の創造性に : Progressive
個々人の情報創造力、処理能力が飛躍的に向上、変革の源に

(2). マルチメディア革命への道程 ~ Chance Challenge Change

世界同時進行のパラダイムシフト

- ・ 新たな産業、新たな企業、新たな競争、新たな価値観、新たなライフスタイル・・・
- ・ 反面衰退産業、失業、不応者・・・も

シーズ(技術)と、ニーズ(需要)・リテラシー(能力)の乖離が拡大

ベンチャーが主役の 3 C (Chance Challenge Change) 時代

ビル・ゲイツは未来を語る

「ゴールドラッシュは始まったものの、金を目にしたものはまだいない」

「大衆がマルチメディアに何を望むかはまだ誰にもわからない。大衆自身もわかっていない」

(3). 我、革命の志士たらん

リストラに喘ぐ、中高年ビジネスマンの希望の星に

閉塞状況下の我国復興の起爆剤に

結果、宝の山が手に入れば望外の喜び

(4). 起業とは

ロマン(夢)、アート(芸術)、サイエンス(科学)、そしてヒューマン(人間的)

2 . 起業の経緯 ~ Multimedia For The People を目指して ~

(1).退職までの経緯

- ・トヨタで主に乗用車、産業車両の商品・販売企画を担当
- ・I D Oに4年間出向、中部地区の営業実務責任者としてN T T相手に奮戦
- ・帰任後、南九州地区販売店担当員、情報通信事業企画を担当
(出向時に身についた新興企業のバイタリティとトヨタの大企業病的体質に違和感)
- ・マルチメディアをライフワークに
- ・異業種交流会M I C(マルチメディア・イノベーターズ・サークル)の主催
- ・ネット活動(オンライン・オフライン)とホームページ開設(96年夏)
- ・起業の可能性検討と転職活動(年齢、語学、大企業勤務がネック)
- ・チャレンジキャリア支援制度の適用(起業目的では初事例)を受け97年末退職

(2). 起業の理念

~ M I C l e による新たなコミュニケーションネットワークシステム(ICNS)の創出 ~

M I C l e : Multimedia Innovator's Circle

I C N S : Innovative Communication Network System

自らを変革し得る自立した個人や組織・企業が、
新たな価値観やライフスタイル、新たな経営戦略やビジネスチャンスを目指し、
各々の得意、専門・熟練分野の知識・ノウハウを、
相互に提供・交換・利用し合って創る、
新たなコミュニケーションネットワークシステム

(3).(有)マイクル <http://www.micle.co.jp/>

設立経緯

- ・名古屋から鎌倉に転居(自宅売却)、横浜にオフィス開設
(名古屋人脈はトヨタの肩書きがあってこそ、人・情報量が桁違い・・・)
- ・98年3月18日、有限会社マイクル設立登記、資本金500万円

事業内容

- ・マルチメディアの企画及びコンサルティング
- ・マルチメディア用ハードウェア、ソフトウェアの開発、制作、販売
- ・衛星通信、衛星放送、インターネットに関するシステムの企画及びコンサルティング
- ・衛星通信、衛星放送、インターネットを利用した情報提供サービス
- ・情報通信事業、衛星通信事業、衛星放送事業
- ・電子出版物の企画、編集、出版
- ・マーケティング全般の企画及びコンサルティング

(4).サイバーコミュニティ「おじさんの群」 <http://www.micle.co.jp/mura.htm>

設立主旨

- ・おじさん(中高年ビジネスマン)にマルチメディアの可能性と楽しさを知らせ、真の情報と最適な機器をアドバイス・提供し、実践的に使えるようにする

アクセス状況等

- ・昨年7月開設。アクセス数は約50/日で、現在累計20,000。訪問登録者数約200名
- ・昨年10月、朝日新聞「人間図鑑」に紹介される

コンテンツ

- ・おじさん瓦版：電網かわら版『必読！マルチメディア(抄録版)』
無料週刊メールマガジン。購読者数約1500名
- ・おじさん寺子屋：実践的パソコン、インターネット講座
- ・おじさん赤提灯：掲示板
- ・おじさんリンク：群の仲間達他、お勧めリンク集 等

(5).電網企画会社「マイクルプラン」 <http://www.micle.co.jp/plan/>

設立主旨

- ・我国初の本格的バーチャル・カンパニー
- ・ネット上でのメンバーの自由な議論や意見交換による新商品・新事業企画

アクセス状況等

- ・本年4月開設。メンバー数：30名
- ・最初のテーマ「ビギナーパソコン事業企画」を推進中

会費等

- ・入会金 個人メンバー：3,000円、法人メンバー：30,000円
- ・年会費 個人メンバー：1,000円/1口、法人メンバー：10,000円/1口
- ・会費の一部を事業会社の出資金に充当、メンバーは株主、社員、事業パートナーとして優先的に参画可能

コンテンツ

- ・プランニングルーム：メーリングリストによる議論、意見交換
- ・ミーティングルーム：メンバー専用掲示板
- ・電網かわら版『必読！マルチメディア』：読者登録&カンパ制メールマガジン
購読者150名(うち有料購読35名)
- ・資料室、関連リンク集 等

3. 起業の背景

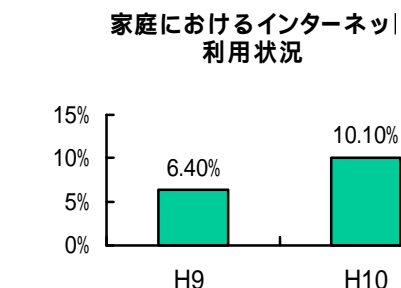
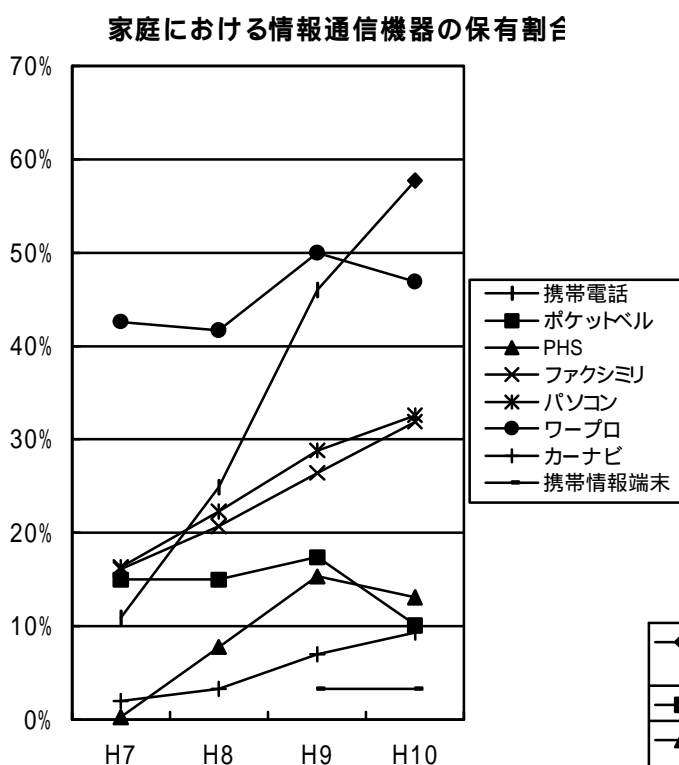
(1). 我国の現状～マルチメディア分野も未だ閉塞状況下～

情報分野：パソコン、インターネット普及は足踏み

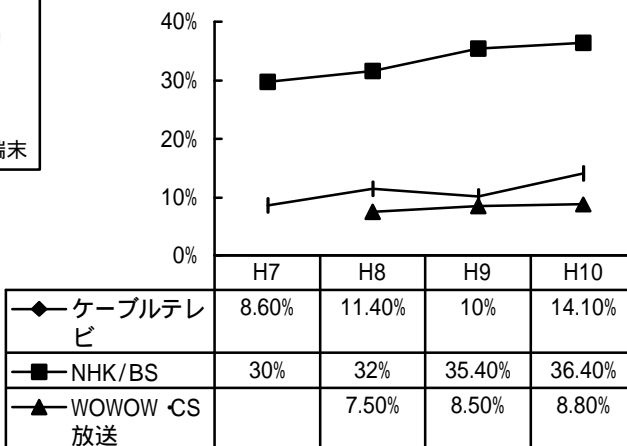
通信分野：モバイル(携帯・PHS)は異常膨脹、高速データ通信サービスの遅れ

放送分野：多チャンネル放送(衛星、CATV)は普及が進まず

結果、EC(電子商取引)ビジネスで米国に大きく遅れる



家庭における放送サービス視聴状況



郵政省「通信利用動向調査」より

<http://202.48.208.73/tokei/tmdokuji.html>

(2). 要因・問題点

低い情報リテラシー(参考 1,2,3)

低いマルチメディアニーズ(参考 4,5)

要因は、日本社会、日本的経営の特質(参考 6,7)

- ・ 集団主義、偏差値教育による個性や創造性の圧殺
- ・ ベンチャー・ビジネスの育ちがたい系列型経済のメカニズム
- ・ タイプライター以来の事務機嫌い、キーボードの不慣れ
- ・ 漢字文化圏でアナログの伝統文化(欧米はデジタル社会)

参考1: 主要国における学校のインターネット普及状況 (電気通信審議会中間答申より)

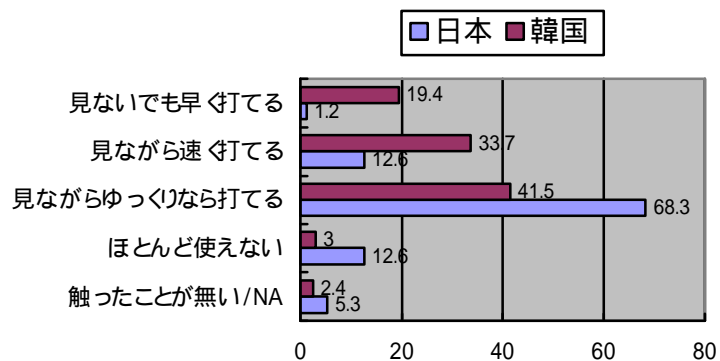
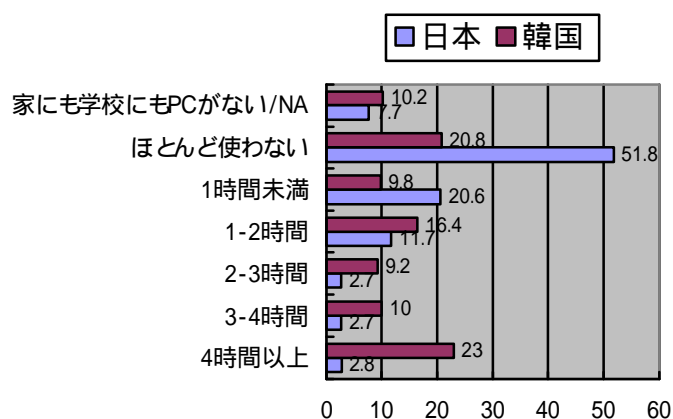
<http://www.mpt.go.jp/pressrelease/japanese/new/990531j502.html>

日本 (1998 年春)	全学校の 18.7% (高校: 37.4% 中学校: 22.7% 小学校: 13.6%)
米国 (1998 年秋)	公立学校の 89%、全教室の 51%
フランス (1999 年 1 月)	高校: 85% 中学校: 55% 小学校: 15%
イギリス (1998 年 3 月)	中学校: 83% 小学校: 17%
シンガポール (1998 年 7 月)	1 クラス 1 回線 100%普及

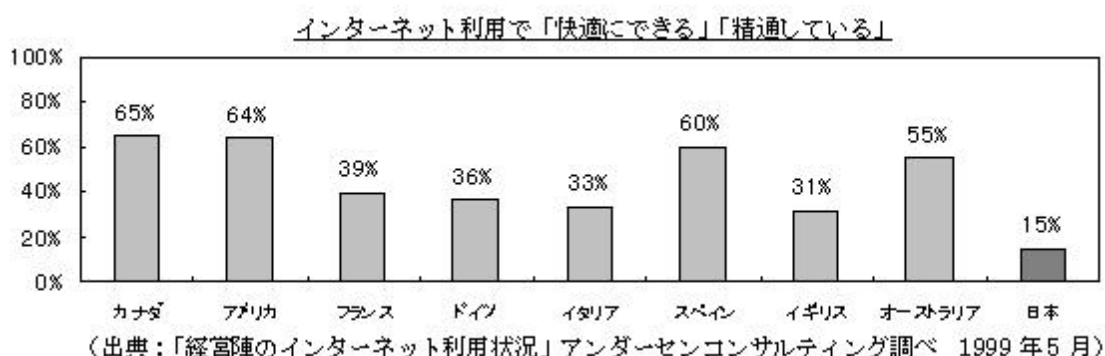
参考2: 中学生における日韓情報リテラシー比較 (電気通信審議会中間答申より)

1週間のパソコン利用時間(学校+家)

キーボード・タイピングスキル



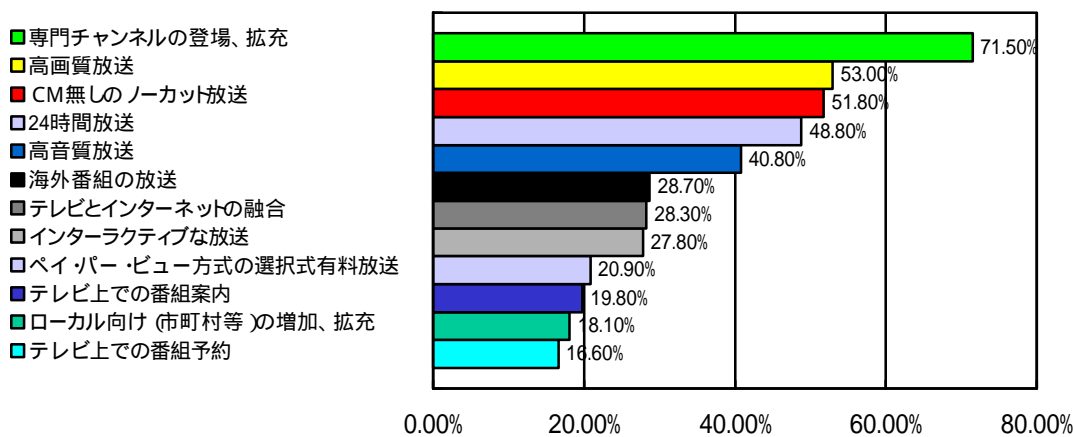
参考3: 世界の経営陣のインターネット利用状況 (電気通信審議会中間答申より)



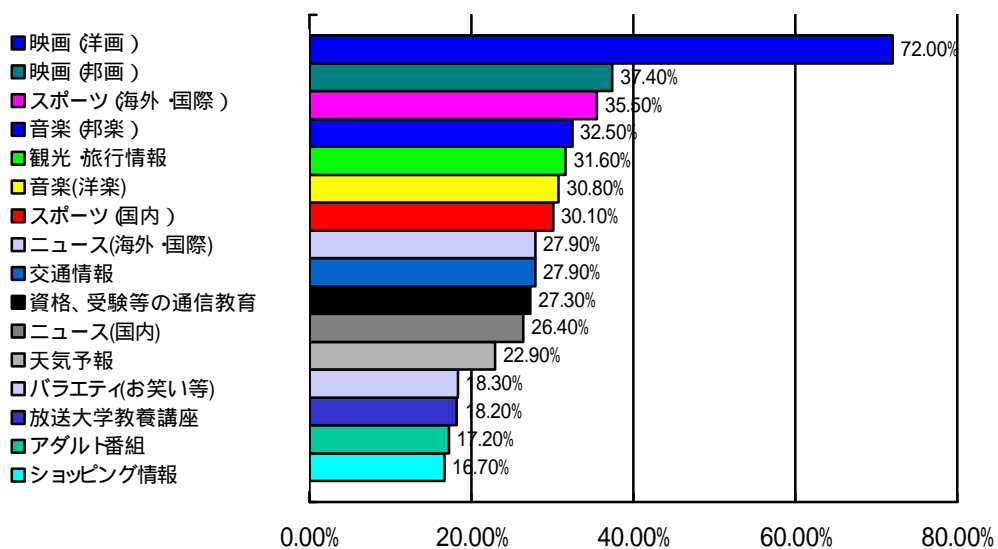
参考4・5: デジタル放送のニーズ (三菱総研、放送のデジタル化に関するアンケート結果より)

<http://www2.dialine.co.jp/other/press/index.html>

デジタル放送への期待度



デジタル放送でみたい番組の種類



参考6：日米経済社会の特質比較

	米国	日本
情報通信	パソコン、CATV高普及 多彩な通信サービス、安い料金 ネットワークの活用（長い移動距離） ホームショッピングの発達、カード社会	パソコン、CATV低普及 未成熟なサービス、高い料金 交通手段の利用（短い移動距離） ホームショッピング未発達、現金社会
自然環境	広い国土・住宅、時差制約 低い集積度、高い地域性 分散した拠点・立地	狭い国土・住宅、時差なし 高い集積度・低い地域性 集中した拠点・立地
社会環境	異質・多様性（多民族、言語、文化） 競争社会（挑戦、消費者重視） 水平社会（平等、公平、効率、機能） 高い契約概念、多い訴訟 公私厳密、責任明確 アルファベット（キーボード、デジタル）	均質性（単一民族、言語、文化） 調整社会（秩序、生産者重視） 垂直社会（階級、保守、人間関係） 薄い契約概念、多い和解 公私曖昧、責任不明確 漢字・かな（手書き、アナログ）
価値観・行動様式	個人主義、独立性 時間重視、雄弁の美德 対等・双方向・パーソナルコミュニケーション 合理的、実質的、実践的 宗教的、罪の文化	集団主義、相互依存性 時間軽視、沈黙の美德 序列・片方向・組織コミュニケーション 儀礼的、形式的、伝統的 非宗教的、恥の文化

参考7：オンラインサービス関連の日米比較(電気通信審議会中間答申より)

	米国	日本
電子商取引市場	25,800億円（98年）	1,665億円（98年）
オンラインショッピング利用者	3,500万人（98年12月）	112万人（98年9月）
インターネット決済額	1兆8,360億円（98年）	1,320億円（98年）
インターネット広告市場	2,400億円（98年）	113.9億円（98年）